

トショノス

トショノスは利用者さん投票で
決まったタイトルです

より身近に感じていただける図書館だよりをつくるには…と
考え、タイトルを利用者の皆さまに決めていただきました。
リフノス公式 Twitter・Instagram にて投票を実施。厳正なる
投票の結果、『トショノス(図書の巣)』に決定いたしました。
ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！
トショノスをどうぞよろしくお願いいたします。

最近の花淵さん

窓口担当の花淵さんはスタッフの中でもカウンターにいる
時間が長く、館内を最も知り尽くしている一人かもしれません。
接遇もグッと頼もしくなりました。開館直後の、緊張で
カチコチになっていた彼女はもういません。

そんな花淵さん、今年の夏は久しぶりにアイスを食べたそ
うです。「季節を問わずアイスはあまり食べないんですが、
蔵書点検で差し入れを頂いて、かなり久しぶりに食べてみた
らおいしかったです」と笑顔で話してくれました。

○花淵さんおすすめ本

鏡の国のアリス
ルイス キャロル 作
脇 明子 訳
岩波書店



8 月、暑くて大変な毎日が続いていますが、皆さまは
夏を満喫できているでしょうか。暑いなかお仕事や家事
を頑張っている皆さまも、夏「休み」なのに休ませてく
れない宿題・課題と戦っている皆さまも、気分転換に物
語の世界に浸ってみるのはいかがでしょう。

物語の世界に浸るといって、ご存じの方も多いと思い
ますが『鏡の国のアリス』が私は最初に思い浮かびます。
あの個性的な世界観と登場人物が進んでいく物語は、た
まに迷子になったりしてしまいましたが、読んでいてとて
も楽しく不思議な感覚を得ることができます。もちろん
前作の『不思議の国のアリス』も物語の世界に浸るには
十分な内容かと思いますが、個人的には続編である『鏡
の国のアリス』の方が好みです。作中の言葉遊びでマザー
グースの歌が出てきますし、チェスのルールに沿って物
語が進んでいくという設定が面白いと思います。

旅行やお出掛けは季節に関係なく楽しいということは
大前提として、涼しい部屋でのんびりしながらどんな場
所にも行ったような気分になれる読書も、素敵な時間の
過ごし方かなと思います。

花淵ひなの



荒井良二さんがリフノスにやってきた！

ライブペインティングは
作家と観客とで創り上げる芸術

6/4(土)

荒井良二ライブペインティング

ステージ中央に置かれた、大きくて真っ白な屏風。絵本作家・荒井良二さんの著作がそのまわりをカラフルに彩り、楽しい時間の始まりを予感させます。ライブペインティングが始まると、絵の具のチューブから直接色を出したり、指で色を伸ばしたり、段ボールでこするように色を付けたりと……。踊るように歌うように描く荒井さんにつられて、固唾をのんで見守っていたお客さまからも肩の力が抜け、屏風の変化を楽しんでいるのが見て取れました。ステージ上のワクワクが、会場全体に伝播していくようでした。

そろそろ完成か？と思われたのも束の間、「なんか違うんだよね……」と呟きながら、なんと荒井さんは白い絵の具で屏風を塗りつぶしていくのです。途中退席され、会場に戻ってこられたお客さまから「わー！全然違う！」と歓声が上がるほど、絵は時間経過とともに様変わりしていきました。

荒井さんからは「ライブペインティングは、自分と皆さんとの出来事。お客さまの反応はプレッシャーに感じるけど、それは良いプレッシャー。エネルギーになる」というお話がありました。荒井さんの頭に浮かんだものを描いて、消して、また描いて。その様子を私達観客は一方的に観ているのではなく、一緒に体験しているということですね。とても贅沢で誇らしいひと時でした。荒井さん、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

イベント担当スタッフによる、荒井良二さんおすすめ絵本



きょうはそらにまるいつき

荒井 良二 著 偕成社 E/あらい

ベビーカーに乗っている赤ちゃん、バスに乗っている女の子、山に住んでいるくまの親子。みんなの上にはひとつのまるい月が輝いています。環境や生き物の種類を超えて私たちはみんな同じ空の下にいて、いつも同じ月を見上げていると感じられる絵本です。孤独を感じる時は、上を向いてみてください。あなたは決してひとりではありません。

荒井さん独特の絵のタッチがとても魅力的で、赤ちゃんに見えている空の描写は特に美しいです。ふとした時に空を見上げてみてください。あなたの上にはまるい月が輝いていますか？



バスにのって

荒井 良二 作 絵
偕成社 E/アライ

大きな荷物を抱えバスを待つ男の子、バスに乗ってどこに行くの？どんなバス？と思いを馳せてしまいますが、この絵本はバスに出会うまでに流れるゆったりとした時間が何とも心地良いのです。私たちがストレスとも感じてしまう待ち時間さえも豊かで楽しい時間に変えてしまう魔法のようです。

荒井さんならではの迫力のある立体的描写のバスと、BGMのように規則的に刻むトントンパツトンのリズム。そして、ラスト、思わぬオチ？に苦笑してしまいます！！



そりゃあもう いいひだったよ

荒井 良二 絵 小学館
E/あらい

「ぼくはぬいぐるみのクマ。はじめててがみをもらったんだ。ほんもののクマからてがみを！そりゃあもういいひだったよ！」。ぼくは、ほんもののクマに会いに出かけます。道中で出会う誰もがそりゃあもう優しくていい人で、ぼくは嬉しくて仕方ありません。

嬉しさを爆発させるぼくの姿と明るく美しい景色は、普段心の奥底で息をひそめている「嬉しい」「楽しい」という感情をすーりと引き出してくれます。大人の方にもぜひ手に取っていただきたい1冊です。

6/4(土)〜5(日) 図書館に泊まろう

「図書館の神さま」と一緒に、
楽しい本の世界へ

大人気企画「図書館に泊まろう」、今年は15名の募集に対して75名ものお申込みがあり、なんと倍率5倍での抽選となりました。昨年に引けを取らない盛り上がりでスタートした本イベント。今年のゲストは、世界的絵本作家の荒井良二さん。

18時から荒井さんご挨拶が行われ、「図書館の神さま」を作る工作の時間が始まりました。「図書館ではしゃべらないから、神さまに口はいらないかな」「ここに切り込みを入れたら自立するよね」と、面白いアイデアで神さまを作っていく荒井さん。子どもたちは引き込まれるように話を聞き、それぞれが思い描く「図書館の神さま」を真剣かつ楽しそうに制作していました。

19時から子ども達同士の自己紹介の時間です。「図書館に泊まろう」は学校の違う、同じ本好きの子と仲良くなれるイベントでもあります。どんな本が読みたい？という質問に対して「妖怪の本」「青い鳥文庫」など様々なジャンルの本が挙がり、みんなリラックスした状態で、お互いの好きな本の話をしていました。

19時半からは図書館スタッフによる館内の紹介です。参加者になじみのある児童書をメインに、図書館の中を探検しました。参加者は「この本はどこにありますか？」と質問したり、「ここにはこの本があるんだよ」とスタッフに教えてくれたり、興味津々の様子で順番に本棚を見て回りました。

20時になったら、お待ちかねの読書の時間！寝袋の近くに本を持ってきて、思う存分本を読みます。たくさん本を抱えて館内を見て回る子、寝袋に入りながら1冊の本をじっくり読む子、友だちと一緒に雑誌を広げる子……自由に読書を楽しむ参加者たちは、とてもワクワクした表情を浮かべていました。

次の日の朝、全員で寝袋を片付け朝食を食べ終えると、お別れの時間がやってきます。迎えに来てくれたお父さん、お母さんに満足げな顔で「楽しかった」と伝える子ども達。「図書館の神さま」に見守られながら、これからもたくさん本の世界を楽しんでください。



チベット幻想奇譚

星 泉 編訳
三浦 順子 編訳
海老原 志穂 編訳
春陽堂書店
929.32/チ

書名にある通り、チベットの人々の生活や世界観を、伝統的な口承文学や信仰が背景として描かれている13の短編集です。原作も実際にチベットの現代作家さんたちによって書かれています。それぞれの作品には解説も付いているので、解説を読んだ後でもう一度読み直しても、また違った視点で味わえて楽しいと思います。現実と非現実、生と死、そして時代をも越える不思議で少しダークな雰囲気の話、この夏に読んでみてはいかがでしょうか。

ナミヤ雑貨店の奇蹟

廣木 隆一 監督
東野 圭吾 原作
山田 涼介 西田敏行 ほか出演
KADOKAWA
DVD/778.21/ナ

2017年に公開された東野圭吾原作の映画。大きな屋敷で悪事を働き逃走する敦也たち3人組は、一晚隠れるために誰も寄り付かない寂れた雑貨店に侵入します。そこはかつてお悩み相談を手紙で受け付けていた「ナミヤ雑貨店」。今は営業していない雑貨店ですが、突然シャッターの郵便口に過去からの手紙が投函され……。



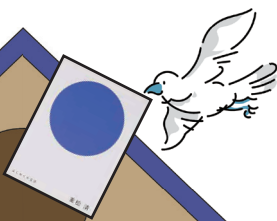
47 都道府県日本全国地元食図鑑

菅原 佳己 著
平凡社
596/ヲ

コロナ禍においてはなかなか県外へ旅行に行くのも難しいですが、この図鑑の面白いところは「名産」ではなく「地元食」を紹介しており、いつか訪れる事ができた時にはその土地のスーパーに直行したくなると思います。地元民にはその辺で売っている珍しくもない商品が、他県民にとってはちょっとレトロなパッケージも、ユーモアセンスが光る商品名もすべてが魅力的に見えてくるのですから不思議なものです。長くその土地の人に愛されている地元食を旅行気分で見つけてみませんか？

おすすめ資料のご案内

- ▲ 児童書
- ▲ YA(ヤングアダルト)
- ▲ 一般書
- ▲ 視聴覚・逐次刊行物



重松清 はじめての文学

重松 清 著
文藝春秋
Y/913.6/シマツ

〈はじめての文学〉は、文学に触れはじめる若い読者のために、著者が自選した短編を収めたアンソロジーのシリーズです。重松清といえば、小、中学校の教科書にも作品が載っている作家なので、1作品くらいは読んだことがある人も多いのではないのでしょうか？教科書で作品を読んで、他の話も読みたい！となったら、〈はじめての文学〉を探してみてください。もちろん、この本から重松清を読む方にもおすすめの1冊です。



カーネギーおじさんに教わるシリーズ 1 こども『人を動かす』

さいとうたかし 著
創元社
K/159.5/カ

今からおよそ80年以上前に出版された「カーネギーの人を動かす」を子ども向けにわかりやすく書き直した本です。ひとつきあいで、悩んだり困ったりしたときどうしたらいいか？この本には書いてあります。この他にもシリーズが2冊あるので、家族の人たちと一緒に読んでみるのも楽しいと思います。



どんなにきみが好きだかあててごらん

サム マクブラットニィ ぶん
評論社
E/クワ

仲良しなチビウサギとデカウサギが、お互いのことがどれくらい好きなのかをからだで存分につかって表していきます。そんな好き比べの勝負をしている2匹をみると、とても心が温まります。この本を読んだ人は大好きな人に「好き」という気持ちを伝えたい、最後疲れて寝てしまったチビウサギに対してデカウサギがささやく言葉には、心にグッとくるものがあります。

一緒にお調べします！

レファレンス事例のご紹介

「リフノス」利府町図書館の調査事例をご紹介します。

皆さまのお役に立てるよう、当時の回答に補足を入れている場合や、回答資料を現在もご利用いただけるものに変更している場合があります。

ご相談

利府駅の開業は明治27年1月4日だが、駅設置があらかじめ計画されていたのか、あるいは駅誘致運動の結果として設置されたのか知りたい。

調査経過

- ①郷土資料の棚をブラウジング。『利府村誌』p.567に「明治27年1月4日、請願によって利府森郷字柱田地区に、利府駅が新設された。停車場の敷地は利府森郷字柱田の地点で、当時の素封家、加瀬村佐々木佐太郎氏の寄附によるもの」という内容の記述あり。
- ②『利府町誌』p.721には「明治24年9月、東北本線が上野～青森間全線開通したが、利府に停車場がなかったのを憂い、同27年1月に至り当時の素封家であった加瀬村佐々木佐太郎氏から敷地寄贈請願の申出によって現在地に利府駅が新設された」という内容の記述があった。
- ③以上のことから駅設置はあらかじめ計画されていたのではなく、村民の請願によって設置されたことがわかった。

回答資料

利府村誌
利府村誌編纂委員会 編
利府村 R/212.3/リ

利府町誌
佐々久 監修
利府町誌編纂委員会 編
宮城県利府町 R/212.3/リ

最新情報はこちら



Twitter



Instagram



Web サイト



8 August

★おはなし会の日

1	月	
2	火	
3	水	★
4	木	
5	金	上映会
6	土	★
7	日	
8	月	休館日
9	火	
10	水	★本の座談会抽選日
11	木	
12	金	
13	土	★
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	★
18	木	
19	金	
20	土	★ベビーサイン体験会 YA 代表委員会
21	日	
22	月	休館日
23	火	
24	水	★
25	木	
26	金	本の座談会
27	土	★
28	日	読書スタンプラリー終了
29	月	
30	火	
31	水	★

データベース講座

新聞のデータベースを使って過去の記事を調べることができることをご存じでしょうか？
検索のコツを学んで、図書館のデータベースを使いこなせるようになりましょう！

毎月第4日曜日に開催いたします。お気軽にご参加ください！

【開催日時】今年度 毎月第4日曜日

10:00～10:30、14:00～14:30、16:00～16:30
(各回30分程度)

【場所】図書館 データベース端末を使用

【対象】簡単なパソコン入力ができる方(小学校
中学年～大人)／先着順

【人数】各回1名もしくは2人1組まで

【お申込み方法】図書館カウンターもしくはお電話にて承ります

※データベースのご利用には、図書館の利用者登録が必要です。利用者カードをお持ちでない方は、事前に利用者登録をお願いいたします。

利用者カード更新のお願い

古い利用者カードをお使いの方は、新しい利用者カードへの更新をお願いいたします。ご住所を確認できる運転免許証、健康保険証などの証明書をご持参の上、ご来館ください。

更新後、古い利用者カードは使用できなくなりますが、歴史と思い出が詰まったカードを「記念にとっておきたい」という方は、スタッフまでお申し出ください。これからは新しい利用者カードに、思い出を刻んでいただければ幸いです。



感染拡大防止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リフノスでは厚生労働省の基本的対処方針に則り、以下の対応を実施いたします。ご理解ならびにご協力をお願いいたします。

- ① 出入り口での手指消毒、検温
- ② マスク着用
- ③ 密集回避のための座席数の制限
- ④ 室内の換気

【開館時間】

図書館：9:00～20:00

公民館／文化会館：9:00～21:00

カフェ・レストラン：11:00～19:00(LO 18:30)

【休館日】

図書館／公民館／文化会館：第2・第4月曜日、12/29～1/3、蔵書点検期間(図書館)

カフェ・レストラン：月曜日、12/29～1/3

※ただし、第2・第4月曜日が国民の祝日の場合、翌日が休館日となります。

【アクセス】

〒981-0103 宮城県宮城郡利府町森郷字新椎の木前31番地1

【TEL】

図書館：022-353-5031

公民館／文化会館：022-353-6114

【FAX】

022-355-6250(共通)